



INDEX

Numerics

- 1 ウェイ クロスコネク ト 2-39
- 1WAYPCA、PCA を参照
- 2 ウェイ クロスコネク ト 2-37
- 2WAYPCA、PCA を参照

A

- Access Identifier、AID を参照
- AID 1-2
- ATAG 1-3, 1-12

B

- BRTU 2-7

C

- COMPLD、コマンド完了の動作を参照
- Correlation Tag、CTAG を参照
- CTAG 1-2, 1-13
- CTC
 - Test Access タブ 2-7
 - TL1 セッションの開始 2-2
- CTC の Test Access タブ 2-7
- Ctrl-F、キーボード ショートカットを参照
- Ctrl-R、キーボード ショートカットを参照

D

- DENY、コマンド完了の動作を参照

F

- FTP ソフトウェア ダウンロード
 - APPLY 2-45
 - COPY-RFILE 2-44

- REPT EVT FXFR 2-45
- 新しいソフトウェアのアクティブ化 2-49
- 新しいソフトウェアのダウンロード 2-46
- 開始、終了、処理済みのレポート 2-45
- 説明 2-44
- ソフトウェアを元に戻す 2-45
- フラッシュ 2-45
- リモート 2-50

I

- International Telecommunications Union、ITU を参照
- ITU 1-1

M

- Maintenance、セキュリティ レベルを参照
- Man-Machine Language、MML を参照
- MML 1-1
- MS-SPRing、VC 回線の設定 2-32

O

- Operations Support System、OSS を参照
- OSS 2-28

P

- PCA
 - 1WAYPCA 2-42
 - 2WAYPCA 2-42
 - クロスコネク トの取得 2-43
 - クロスコネク トのプロビジョニング 2-42
 - 取得 2-43
 - 余剰トラフィック 2-42

PM

- PM スケジュールの管理 2-53
- PM スケジュールの作成 2-52

- PM レポートのスケジュール設定 2-52
- オートマチック自律 PM 2-54
- 自律 PM レポートの受信 2-52
- レポートのイネーブル化またはディセーブル化 2-53
- PM レポートのスケジュール設定、PM を参照
- Protection Channel Access、PCA を参照
- Provisioning、セキュリティ レベルを参照
- PRTL、コマンド完了の動作を参照

- R**
- Remote Test Unit、RTU を参照
- Retrieve、セキュリティ レベルを参照
- RMON マネージド PM
 - DWDM カードについての注意事項
 - DWDM カードの OCH ポート 2-69
 - DWDM カードのクライアントポート 2-69
 - PM データ レポートのための NE のスケジュール設定または変更 2-66
 - PM レジスタの初期化 2-66
 - RMON アラーム テーブルで定義されたスレッシュホールドの取得 2-65
 - RMON スレッシュホールドの作成、または削除による変更の NE へのレポート 2-67
 - RMON 統計のスレッシュホールド タイプの作成 2-63
 - RMON 統計のスレッシュホールド超過イベントの報告 2-66
 - RMON 統計レポート スケジュールの取得 2-67
 - RMON マネージド PM の取得 2-62
 - イーサネット統計および TCA 条件タイプ用に定義されている MONTYPE 2-67
 - 自律モニタリング統計の報告 2-67
 - スレッシュホールド タイプの削除 2-64
 - 列挙
 - SAMPLE_TYPE 2-68
 - STARTUP_TYPE 2-68
 - TMPER 2-67
- RTU 2-7

- S**
- SNCP
 - 1 ウェイ クロスコネク ト 2-32
 - 2 ウェイ クロスコネク ト 2-32
 - PPMN 2-32
- VC 回線の設定 2-32
- クロスコネク ト 2-32
- トポロジー 2-32
- Superuser、セキュリティ レベルを参照

- T**
- TACC
 - TACC モード 2-13
 - TACC モードの定義
 - LOOPE 2-22
 - LOOPF 2-23
 - MONE 2-18
 - MONEF 2-20
 - MONF 2-19
 - SPLTA 2-24
 - SPLTB 2-24
 - SPLTE 2-20
 - SPLTEF 2-22
 - SPLTF 2-21
 - TAP 情報の取得
 - RTRV-rr 2-14
 - RTRV-TACC 2-14
 - TAP の削除 2-15
 - TAP の作成および削除
 - ED-DS3I 2-10
 - ED-E1 2-9
 - ED-E3 2-10
 - ED-rr 2-9
 - ED-VC12 2-11
 - ED-VC3 2-11
 - ED-VC4n 2-10
 - TAP の接続 2-12
 - TAP の接続解除 2-15
 - Test Access 関連の用語 2-8
 - Test Access の設定 2-16
 - 回線タイプでサポートされるモード 2-27
 - 対応付けのない AID の TAP 接続
 - 1 ウェイ回線 2-26
 - 2 ウェイ回線 2-26
 - 対応付けのない AID 2-26
 - モード 2-17
- TAP 2-7
- Target Identifier、TID を参照
- TCA 2-62、2-67
- Telnet 2-3

Test Access Point、TAP を参照
 Test Access 関連の用語、TACC を参照
 Test Access、TACC を参照
 TID 1-2, 1-13
 TL1 1-1
 TL1 ゲートウェイ
 Cisco ONS 15454 SDH 2-29
 Cisco ONS 15600 SDH 2-29
 DCC 2-29
 DCC TCP/IP 2-28
 ENE 2-28
 GNE 2-28
 GNE セッション 2-28
 INE 2-28
 一意のノード名 2-30
 ゲートウェイ ネットワーク エlement トポロ
 ジー 2-28
 コマンドの転送 2-31
 実装 2-30
 同時通信セッション 2-29
 リソース プール 2-29
 リモート ENE からの自律メッセージの受信
 2-31
 リモート ENE からのログアウト 2-31
 リモート ENE へのログイン 2-31
 TL1 セッションの開始
 CTC 2-2
 Telnet 2-3
 クラフト インターフェイスによる
 (ONS 15454 SDH) 2-4
 クラフト インターフェイスによる
 (ONS 15600 SDH) 2-5
 TL1 通信の設定 2-2
 Transaction Language 1、TL1 を参照

U

UID 1-2
 User Identifier、UID を参照

Y

Y 字ケーブル保護グループのプロビジョニング
 2-78

あ

アラーム コード
 クリティカル 1-3
 非アラーム 1-3
 マイナー 1-3
 メジャー 1-3

い

引用符、記号を参照

え

エコー 3-47
 エラー 3-1
 エラー コード順の一覧 3-1
 エンドポイント ネットワーク エlement、TL1 ゲート
 ウェイ、ENE を参照

お

オートマチック自律パフォーマンス モニタリング レ
 ポート、PM を参照

か

回線のテスト 2-7
 かぎカッコ、記号を参照
 角カッコ、記号を参照
 下限スレッシュホールド 2-62

き

キーボード ショートカット
 Ctrl-F 1-7
 Ctrl-R 1-7
 記号 1-2

く

クリティカル アラーム、アラーム コードを参照

- け
- ゲートウェイ ネットワーク エlement、TL1 ゲートウェイ、GNE を参照
ゲートウェイ、TL1 ゲートウェイを参照
- こ
- コマンド完了の動作
- COMPLD 1-4
 - DENY 1-4
 - PRTL 1-4
- 一般的なルール
- AID の暗黙的リスト — 1 つの AID とワイルドカード 1-4
 - AID の明示的リスト — ワイルドカードなし 1-4
 - 明示的リストと暗黙的リストのグループ化 1-4
- クロスコネクタの取得
- AID の暗黙的リスト — 1 つの AID とワイルドカード 1-5
 - AID の明示的リスト — ワイルドカードなし 1-5
 - 明示的リストと暗黙的リストのグループ化 1-6
- コマンド構文 1-2
- 混合モード タイミング 1-7
- し
- 自動プロビジョニング、フレーミング タイプ 2-70
上限スレッシユホールド 2-62
自律メッセージタグ、ATAG を参照
- す
- スレッシユホールド超過アラート、TCA を参照
- せ
- セキュリティ デフォルト タイムアウト 1-6
セキュリティ レベル
- Maintenance 1-6
 - Provisioning 1-6
 - Retrieve 1-6
 - Superuser 1-6
- 説明 1-6
セキュリティ、ユーザ レベル 1-6
セッション
- CTC 2-2
 - Telnet 2-3
 - クラフト インターフェイス ONS 15454 SDH 2-4
 - クラフト インターフェイス ONS 15600 SDH 2-5
 - 説明 2-2
- そ
- ソフトウェアのダウンロード、FTP ソフトウェアのダウンロードを参照
- た
- タイミング、混合モード 1-7
- ち
- 中間ネットワーク エlement、TL1 ゲートウェイ、INE を参照
- て
- デフォルト値
- MS-SPRing 1-8
 - SDH 回線保護 1-10
 - VC パス 1-11
 - 環境 1-8
 - 機器 1-9
 - クロスコネクタ 1-8
 - テスト 1-12
 - 同期 1-11
 - パフォーマンス 1-9
 - ポート 1-10
- と
- トランスポンダおよびマックスポンダ カードのプロビジョニングに関するルール
- ALS 2-79
 - DCC/GCC 2-74

- ITU-T G.709 OTN、FEC、および OTN SDBER/SFBER 2-75
 - PM およびアラーム スレッシュホールド 2-77
 - PPM 2-70
 - SDH 関連 2-80
 - STM ペイロード 2-71
 - Trail Trace Identification (TTI) 2-77
 - Y 字ケーブル保護グループ 2-78
 - オーバーヘッド回線 2-80
 - 終端モード 2-73
 - スプリッタ保護グループ 2-78
 - セクショントレース (J0) 2-76
 - 同期 2-75
 - ハードウェアの制約 2-81
 - 波長 2-73
 - ペイロード 2-70
 - ポート ステート モデル 2-79
 - リジェネレーショングループ 2-74
 - ループバック 2-79
- は**
- パラメータの説明
 - ATAG 1-12
 - CTAG 1-13
 - TID 1-13
 - 注意事項 1-13
- ひ**
- 非アラーム メッセージ、アラーム コードを参照
- ふ**
- ファイル転送プロトコル、FTP ソフトウェア ダウンロードを参照
 - ブリッジアンドロール
 - 1 ウェイ回線のシングル ロールおよびデュアルロール手順 2-58
 - 2 ウェイ回線のシングル ロールおよびデュアルロール手順 2-57
 - VCAT に関する制約事項 2-56
 - 回線レベルのロール 2-54
 - 共通ファイバルーテッドVCATに関する制約 2-56
 - コマンド 2-56
 - サポートされる保護ロール 2-61
 - 自動モード 2-54
 - 手動モード 2-54
 - 制約事項 2-55
 - 説明 2-54
 - パス レベルのロール 2-54
 - バルク ロール 2-54
 - 保護ロールの手順 2-60
- ほ**
- ポート番号、3083、2361、3082 2-3
- ま**
- マナーアラーム、アラーム コードを参照
- め**
- メジャーアラーム、アラーム コードを参照
- も**
- モニタ回線 2-7
- り**
- リモートへのソフトウェア ダウンロード 2-50
 - リングのプロビジョニング
 - 1 ウェイドロップアンドコンティニュー 2-39
 - 2 ファイバ MS-SPRing から 2 ファイバ MS-SPRing への接続 2-37
 - 2 ファイバ MS-SPRing から 4 ファイバ MS-SPRing への接続 2-37
 - 2 ファイバ MS-SPRing から SNCP への接続 2-36
 - MS-SPRing 2-32
 - SNCP 2-32
 - SNCP から 2 ファイバ MS-SPRing への接続 2-35
 - SNCP から 4 ファイバ MS-SPRing への接続 2-38
 - SNCP から SNCP への接続 2-34
 - SNCP クロスコネク ト 2-32
 - SNCP トポロジー 2-32
 - 宛先ノード 2-41

セクタ 2-34
送信元ノード 2-41
ドロップアンドコンティニューノード 2-41
ブリッジ 2-34
リング間の相互接続 2-33

ろ

ログイン 2-2